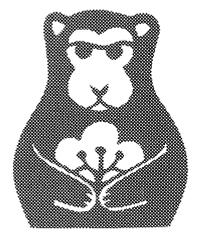


広報 ながはま 1月号

<p>あ</p>	<p>け</p>	<p>ま</p>	<p>し</p>	<p>て</p>
<p>お</p>	<p>め</p>	<p>で</p>	<p>と</p>	<p>う</p>
<p>あ いさつは 礼儀作法の 第一歩</p>	<p>け なすより 賞めて導く 親の知恵</p>	<p>ま をみつけ 子供と遊んで やれる親</p>	<p>し んじあう 親子で築く よい家庭</p>	<p>て づくりの 遊ぶ道具に 血が通う</p>
<p>お やがする 姿をまねて 子は育つ</p>	<p>め いわくを かけず協力 できる子に</p>	<p>で んわす マナーでわかる お人柄</p>	<p>と しよりほ 我が家の宝 子の鏡</p>	<p>う んどうは 家族そろって 続けよう</p>

加賀春



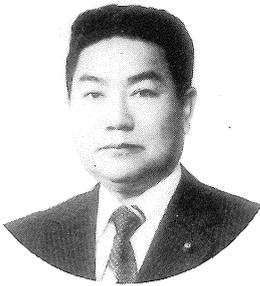
昭和55年
1980年

年頭あいさつ



つつしんで町民の皆さまに新年のごあいさつを申し上げます。昭和五十四年も諸事多難のうちにあわただしく過ぎ去り、ここに希望にあふれた昭和五十五年の新春を迎えましたことを、まずお喜び申し上げます。

私、町長に就任以来一年有余の短い期間であります。町民の皆さまのご支援を唯一の力として、「明るく豊かで住みよい長浜町づくり」を目標に微力を尽くしてまいりました。おかげさまで大過なく越年することができましたことは、これひとえに皆さまのご協力の賜物であると心から感謝の意を表する次第であります。



町民の皆様、あけましておめでとう

昨年は、とくに十月の総選挙におきまして、西田司代議士を再び国政の場にお送りすることができましたことは、私共町民にとりまして特筆すべき慶事でありました。ここに、皆さまのご協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

さて、激動の一九七〇年代も終り、いよいよ八〇年代の幕明けでございます。転換を求められてお

流通備蓄基地開発

実現への曙光見える年に

長浜町長 二宮重憲

この重要な八〇年代を迎え、我が長浜町におきましても、重要課題が山積いたしました。そのなかでも、とくに新長浜港湾建設を軸とする流通備蓄基地の開発問題は、将来の本町発展のための最重要課題であります。今年こそ町民の皆さまのコンセンサスをいただき、西田代議士のご指導ご援助

を仰ぎ、その実現への曙光の見える良き年にしたいものだと考えております。いま、歴史の歯車は、地方に重点を置こう、真の自主性を地方に与えようという方向へ動いておるのであります。私は、町民の皆さまの信頼にこたえ「地方の時代」と言われるにふさわしいゆとりとふれ合いのある地域社会を実現する

少しでも住みよい方向にむけるよう、町民の皆さまと手をたずさえて私共の町づくりに精励する覚悟であります。なにとぞ変らぬご指導ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

明けゆく昭和五十五年が、町民の皆さまにとりまして最良の年でありませう心からお祈りを申しあげまして、私の年頭のごあいさつといたします。

とうございませう。希望に満ちた輝かしい新春を皆様と共に迎えることができますこと

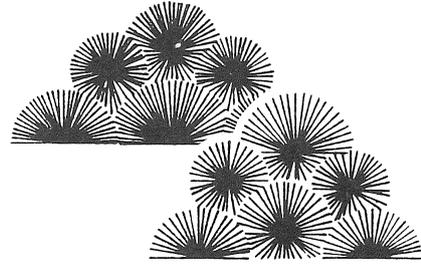
とは、誠におめでたく心からお祝い申し上げます。さて、浅学非才な私が、昨年十

議会の機能最大限に発揮して

流通基地開発 代議士の指導受け町と相協調して

長浜町議会議長 堤正和

二月の町議会において、はからずも議長の重責を負うこととなり、今さらながらその使命の重大さを痛感致しておりますが、ご推薦を受けましたうえは町議会への円滑な運営と町民の皆様方のご意見が町政に反映されるよう、ひいては本町のより一層の発展のため誠心誠意努力を続けて参る所存でございます。



戦傷病者・戦没者遺族援護法一部改正

こんな方には特別給付金継続支給
 特別給付金継続支給
 次にご該当する方は、引き続き特別給付金が受けられます。

戦傷病者などの妻のうち特別給付金五万円を受けていた方（国債の「は号」が、昭和五十四年五月十五日で終了している方）で、昭和五十四年十月一日現在において障害年金などを受けている

次にご該当する方にも紹介の通りの特別給付金が支給されることになりました。

こんな方にも特別給付金

- （戦傷病者戦没者遺族援護法（どの一部が改正され、特別給付金）が次の通り新たに支給あるいは（継続支給されることになりました。）
- （該当する方は、いづれも請求（手続きが必要ですので、お忘れ）なく手続きをしてください。）

昭和四十八年四月二日から五十四年四月一日までの間に、戦傷病者と婚姻した方、および、新たに戦傷病者に認定された方の妻。

給付金額は、特別項症および第一款症の方の場合五万間に五万円（年額一百万）、第二款症から第五款症までの方の場合五年間に二万五千円（年額五千万）で、いづれも国債で支給されます。

年頭あいさつ

さて、この八〇年代は地方の時代と言われておりますが、これからは、行政も経済も文化も、地方を中心に展開して行かなければならない時代であり、なかならず町村は地方自治の基礎をなすものとして、ますますその重要性を増すものと思われまます。また一方においては、地方における新たな対応とそれに伴う責任が問われる時代でもあらうと存じます。このような時代の幕あけにあたり、長浜町においては、新港湾建設を中心と

した流通基地開発を目的に、長浜町振興計画基本構想の改訂が行われようとしております。長浜町の生きる道は港であることの確信のもとに、この事業が進められようとしておるのであります。幸い、長浜町には再選を果たされた新進気鋭の西田代議士が国政の重責を担当しておられます。この西田代議士のご指導を仰いで、執行機関である町理事者と相協調し、国、県に対しその対策を強く働きかけますと共に、町議会は町



民の代表であり、また、議決機関でありますから、その機能を最大限に發揮して町民の皆様方のご期待にそなうよう努めて参る所存であります。どうかこの昭和五十五年が、全町民の皆様にとりまして幸せな年でありませう、心からお祈り申し上げます、町議회를代表し謹んで新年のごあいさつと致します。

戦傷病者などの妻。引き続き給付される特別給付金は、十年間につき次の額が、いずれも国債で支給されます。

- ▽第一款症、第二款症で傷病年金を受けている方の場合：十五万円（年額一万五千元）
- ▽第一款症の障害年金を受けている方の場合：三十万円（年額三万円）
- ▽第二款症、第三款症の障害年金を受けている方の場合：十五万円（年額一万五千元）

西紀一九八〇年代の幕明けである昭和五十五年元旦を迎え、皆様のご清栄まことにめでとうございます。私にとりましては、皆様のご温情と計りしれないばく大なエネルギーの支えを頂いて、非常に困難とされていたジンクスを克服し、二期目の国会議席を与えられた

最初の新年であります。おかげさまで最高の感激と尽きることのない感謝の泉のほとばしりに、身の引き締るさわやかな気持ちで新年を迎えることができました。私は二度目の立候補に際し、八〇年代を占う重要な選挙であると言いつつ予測しがたい様相を示しております。いたずらに枝葉末節の論議をもてあそ

びたのでは、今我が国が抱える諸問題の解決をなし得ないばかりか、激変する国際社会にも立ち遅れ、確かな未来への展望も切り開き得ないと考えるのであります。時勢を冷静にとらえ、国家的国民的な視野に立つて推し進め、必要な施策の実践を確実に成し遂げていくことが肝要なのであります。

らないわけですが、信頼の上に立つた政治行政の確立は、欠かすことのできない最大条件であることは言うまでもありません。さて、私も晴れて二年生議員に進級致しました。これまで望み多くして至り得なかつたことは、十分反省し、恥ずかしからぬ仕事をさせて頂くため、より研さんにいそしむ決意を致しております。



このため、まず何事にも先立って、国政に携わる我々が六根清浄にして心を正し身を正して、主権者である国民との強い信頼関係を築き上げなければなりません。社会構造や住民意識が今日のように複雑多様化して参りますと、政治や行政の手法も必然的にこれに対応して、さまざま難解難問に取り組まなければ

信頼に立つ政治行政の確立を

町づくり皆さんと不離一体で

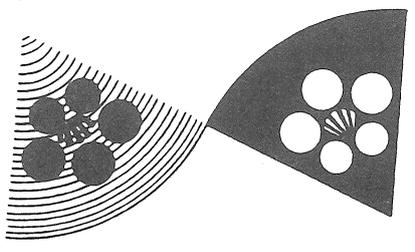
衆議院議員 西田 司

また、地方の時代と呼ばれている今日において、地方自治行政との結びつきが極めて重要であります。国の財政が破たんしひんしている現在、どのように地域発展の方途が見出し得られるか、どのように地域の独自性を打ち立てられるか、なかなか困難な課題であります。私は困難が大きければ大きいほど闘志を盛り上げる性分であつて、輝かしいご隆昌発展に向かわれますよう、深

いご隆昌発展に向かわれますよう、深

あつて、輝かしいご隆昌発展に向かわれますよう、深

一人お一人、健やかで清新はつらつとご活躍



新春登壇

'80年



新しい年を迎えて、私は「健康で」明るい年であるように心を配りたいと思う。そのためには、まず食事から。栄養のバランスを考えた食事を心がけたい。物価高だからこそなおさら片寄らないようにと思う。

次は、生命の貯蓄と言われる体操をし、体力増強と健康体づくりを続けた。私は、昨年四月から「生命の貯蓄体操」の道場に入会し、体操を続けたところ、今まで六年間も悪かった足のひざの関節が良くなり、とても喜んでいる。一人でも多くの方が参加されることをお勧めしたい。



東 アキコ (59歳) 長浜・商業

町当局に望むことは、町内から病人を減らす運動を展開してもらいたいと思う。長浜町の医療費は郡下でトップ、県下で八位とか。このため国民健康保険税は、毎年上がるばかりで、現在最高二十万。もうこれ以上は負担に耐えられないと思う。食事療法の講習をしたり、肥満体をなくす野菜食の奨励、体操やジョギング、農作業による体の鍛練などで、病気にかからない体づくりの大運動を起し、町内から病人が年々減ってゆくことになれないものか。日本のどこの町でも、すでにこの運動を展開中とか。

健康体づくりの年 町も病人減らす一大運動を

僕は、青島で生まれ育った。五年生までは、青島の小学校へ通っていた。そのときの学校への道のりは五、六分しかかっていたが、今だと三分とかならない。六年生になつてなごき寮に入った。最初は、あまりいい感じはしなかったけれど、だんだんとみんなともしたしくなつた。今は、みんななかよしで、部屋は同じ青島の石井君、それに豊茂の藤岡君と僕である。いつも明るく、笑いの絶えない部屋だ。今年は、三年生になるのだから一、二年生を指導できる自分になりたいと思う。



山本 新吾 (13歳) 青島・学生

それから、青島のことで思うことは、飲料水はおとしから水道になつたが、電話が組合に一つしかないことだ。ほかの家にも電話がほしいが、電話線が一本しかないのでつけられない。みんなが協力をしあつて、一本でも二本でもふやしてほしいと思う。

仕事、家庭を充実 漁業の基盤整備を



後藤 光男 (46歳) 今坊・漁業

今年こそは...と、新しい年を迎えるたびに自分に言い聞かせているうちに、八〇年代に突入。ほんとうにこの年こそは、自分の年にし、自分の仕事、良い家庭づくりの充実をはかりたい。漁業を始めて四年。今までは人が漁に出ればそれについて出ると言つたような他力本願的なことばかり。これからは自分自身の仕事、

自分に厳しく 信念もつて



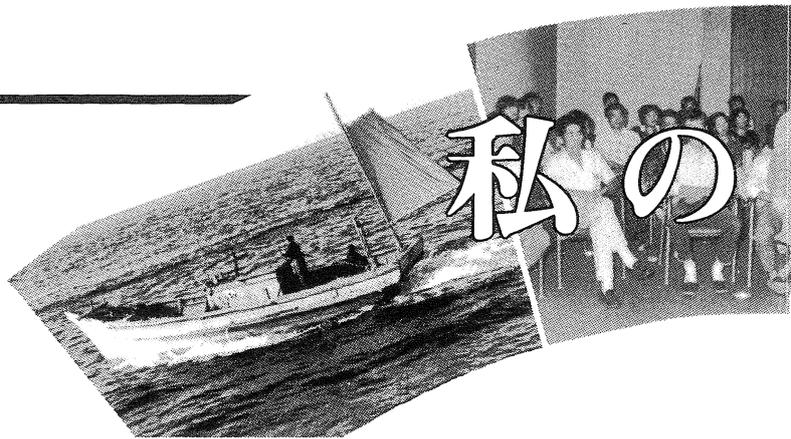
菊地 朋子 (21歳) 豊茂・事務員

この世に生をもらいうけて、早くも二十年余り。今までは人の言いなりでよかったが、もうこの年になると人任せではすまされない。私たちの年代は、戦争も食糧難も知らない。何の苦労もなく、温室で育てられてきた。私は、高校を卒業後間もなく青年団に所属して活動に参加。友も増え、学び多い日々を過ごすことができた。最近では、長浜にも若

漁業として直進したい。漁師には始めがあつても終りが無い。いつまでもたつても卒業はできないと言われる。もう、これから...と言つた年ではないが、体力の続くかぎりがんばりたい。それには家族ぐるみの支援や協力、また、健康を支える体力づくりが大切であり、それが実現への源だと思ふ。年ごとに漁獲量が減少しつつある伊予灘海域。とる漁業からつくる漁業の時代と言つた現状を思うにつけ、町当局に対しては、魚介をふやす対策を強力に推進すると同時に後継者の育成、漁港、国道三七八号線の早期整備など、漁業の基盤整備に力を注いで頂くよう望みたい。

者が増えていく。この若者が団結し、共に力を合わせて活動する一つの組織を考え直し、町づくりにももっと意義深い一翼を担ってゆくことができたらと思う。新春を迎えた今、私は私なりにこれまでに教えられたことを土台にして、しっかりと踏みしめ、自分に厳しく、信念をもつて歩みたい。人生は山あり谷あり、楽あれば苦ありだと思ふが、楽の道ばかりを求めるのではなく、苦しみにも立ち向つて、楽しいときは楽しく、悲しいときは涙して、自分の心に素直に生きていきたい。また、長い年代、多くの人の温かい手によって育てられてきたこの町を、私たち若者の手で、より発展させるようにしたい。

私の



除夜の鐘とともに新年のあいさつが交われ、八〇年の幕明けである。お陰さまで家族そろって健康で平和な新春を迎えられたことを感謝し、今年一年の無事を祈る。

人間関係大切に 若者に魅力ある農業を



松村 幸恵 (31歳) 出海・農業

「二年の計は元旦にあり」毎年のように聞くことばだが、去年を振り返り、悪かったところは改めたい。年齢も三十歳を過ぎたばかり。人生はこれから。ぼちちり計画を立てがんばりたい。そのため、とくに家族の対話、人と人とのつながり、友情を大切にしたい。

ある政治家が、ここ数十年後に

は、日本も食糧危機、物不足に陥ると言っておられた。確かに今の人たちは、物を大切にしている心が薄れていると思う。いい例があつた。ミの山。なんでもかんでも捨ててある。私もその一人。私も知らないが、物価も上がる一方のとき、一人ひとりが物の尊さを考えなおす必要があるのでは。それでこそ美しい文化の町づくりではないだろうか。

行政に望みたいことはたくさんあるが、農業後継者の少ない今日、若者に魅力ある農業づくりを向け、専念してほしい。

まずは「明るい家 庭づくり」から



菊地 正義 (36歳) 穂積・農業

急傾斜の山あいに囲まれた部落ではあるが、静かで暖かい気候に恵まれた土地に生まれ育ち三十七年、今またすがすがしい一九八〇年の新春を家族ぐるみで迎えられることは、幸せであり喜びである。

をもう一度見直し、日本人の生活に人間らしさをとりもどす基盤づくりの必要な八〇年であろうと考えるものである。この大きな曲がり角に立たされるだろう大変な年の幕明けの今、さて私たちは何から始めればよいのか困惑するが、まずは各戸における明るい家庭づくりから始めなければならないと思う。微力ではあるが町民の

高度成長時代はもう終わったと考えなければならぬ。そこで我々農家は農業再編成に取り組み、農業の安定成長を考えるべきだろう。さらに、村づくり

その気持ちが一条の光となり、きつと豊かで明るい農村づくり、町づくり役に立つものと信じているものである。

若い気持ちで 平等に喜べる町政を



兵頭 憲男 (72歳) 榊生・農業

この年まで、これといった持病もなく生き抜いてこられたのは、一つには天恵だと思ふ。が、もう一つには、今は亡き母の励ましによるものと感謝している。

母は、五人の子供と病弱な義母を抱えて、毎日毎日日稼ぎ労働を苦勞して育ててもらったありがたさが、いつも脳裏から離れたことがなく、そのおかげで、どのような難

事も克服してゆかなければならぬ、そしてその母に負けない人間になろうと努力してこられた。その母も九十六歳までの長生きをしてくれた。自分も母に負けず百歳までも生きたいもの。そのためには、若い気持ちを持ち続けることだと思ふ。保育所へ通う子供たちにも、こちらから「おはよう」と言い続けたところ、最近では子供たちの方から「おじちゃんおはよう」と言ってくれるようになり、ほのぼのとした気持ちで一日の仕事に取り組むことができ、若返りの一端になっている。

町政に対しては、庶民の言い分をよく聞いて、みんなが平等に喜べるようなものであってほしいと願っている。

マラソン続ける 何事も早く



谷本 真紀 (8歳) 柴・学生

きらいな科目なくす

わたしは毎朝お父さんとマラソンをしているが、ときどききかない時があった。これからは寒くなっても、つづけてがんばっていきたいと思う。

(一)何事も早くしよう。
私は何をやるのにもぐずぐずしておそいので、早くするように心がけたいと思っている。そして、父母に言われなくても、なんでも進んでしようと思ふ。

(二)きらいな科目をなくそう。
私は算数や図工がにがてなので、今年はその科目がすきになるようにいっしょうけんめい勉強しようと思っている。

(三)この一年間体がじょうぶで、だからますますかえるやさしい子になりたいと思う。

わたしは、お正月が大好きだ。それは、なにもかも新しくなったような気がして、とてもすがすがしい気持ちになるからだ。今年も、去年の事を反省して、次の事をがんばりたいと思っている。(一)マラソンをつづけて元気な子になろう。

長浜分団第5部に

新しい消防車お目見え

排気、放水パワーアップ



新しく購入した消防ポンプ自動車

長浜町消防団長浜分団第五部に、高性能の新しい消防ポンプ自動車がお目見え。昨年十一月二十一日から配備されています。

昭和四十年に購入したこれまでのものが老朽したため、町が九百四十万円で購入した消防車は、三菱新しく購入した消防車は、三菱ふそう、ディーゼルエンジンで、

総排気量はこれまでのものより九〇七CC大きい六、五五七CC。一分間の放水能力は、これまでのものより二八〇リットル多い二、〇八〇リットルを備えています。

お目見えした十一月二十一日には、消防車はさつそく住吉神社に運ばれて、町理事者や分団長以上の消防関係者が出席のもと「入

魂式」を受けました。

高性能の消防車が配備されたと言つて油断して、これが大いに活躍というのでは困ります。火の元にはくれぐれもご用心を。

二十歳のみなさん

国民年金に加入しよう

二十歳になられたみなさん、成人おめでとう。今日から、晴れておとなの仲間入り——あなたはいま、一人の社会人として新しいスタートを切ったのです。

選挙権を行使できるほか、財産上の取引も自分の意思でできるなど法律上、一人前のおとなとしての扱いを受けると同時に、国民年金にも加入できるようになります。

などの整いぐあいなどまで対象となります。

一方、これを大洲、喜多地区管内で競う大洲喜多地区乳用牛共進

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとつて、老後の生活——年金などといったも、まだまだ遠い先の話と思われるかもしれませんが、人間だれも年をとります。老後の生活設計は、若いうちから考えておくのが賢明です。そのためにも、二十歳になったのを機会に国民年金に加入しましょう。

自営業や自由業の人あるいは家事手伝いの人などは、必ず国民年金に加入しなければなりません。昼間部の学生さんや他の公的年金制度に加入しているサラリーマンなどの奥さんは、希望すれば加入できます。

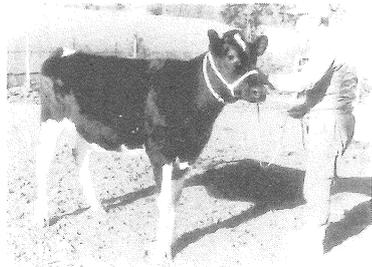
なお、厚生年金制度など職場で加入する他の公的年金に入っている人は、国民年金には加入できません。国民年金で老後をより豊かなものに——保険料は一月三千三百円(四月から三千七百七十円)です。

会は、昨年十一月二十四日に大洲農高グラウンドで開催されました。管内からは七十一頭、長浜町からは十頭が参加。その結果、長浜町から参加した乳牛については後記の通り入賞、入船武夫喜多地区酪農経営者協議会長から表彰されました。

同共進会は、喜多地区酪農経営者協議会牛群改良検定部会が主催しているもので、今年で四回目。

第3回長浜町乳牛共進会入賞者

「ブランドチャンピオン」上満武(柴)



みごとGチャンピオンになつた乳牛と上満武さん

表彰

町共進会で2年連続Gチャンピオン

上満さんの乳牛

町内で飼育管理されている乳牛の改良飼育状況を競う長浜町乳牛共進会が、昨年十一月八日に開催されました。

その結果、参加四十二戸約三百八十頭からブランドチャンピオン賞に柴の上満武さんの乳牛が二年連続で選ばれたほか、後記の通り入賞。ブランドチャンピオンは、二宮町長と町青果農協組合長から、

以下各入賞者は同組合長から表彰されました。

この共進会は、乳牛の改良増殖と飼育管理技術を向上させ、酪農経営の安定を図り酪農生産意欲を高めようと町青果農協が主催、町が共賛、県酪連ら三者が後援して年一回開催しているもので、今回で三回目。審査は乳牛の体高、胸囲、骨格、乳腺のほか顔やヒツブ

時記

サルどし

昭和五十五年はサル(申)どし。

ご存じのように、今は新暦以外の暦は一切使われていませんが、十二支に動物をあてはめたいわゆるエトだけは、その年のペットネームのようにして、何となく残っています。

サルという言葉は「去る」「サルまね」「サル知恵」「サル芝居」などといった調子で、どうもあまりいい意味では使われていないようですし、また、サルカニ合戦でも悪役です。



でもサルを魔よけ、安産、子育て、盗難よけの守り神としている地方もあります。また、映画の寅さんシリーズで有名になった東京・柴又帝釈天の門前で売っているハジキザルをはじめ、各地にサルをかたどったお

写真)長浜水族館のサル君。「ヤイノ今年はオレ様の年だぞ、だいじにしよ」と言っているとかいいたか。

表彰

1部 〓 生後六か月から十二か月までの未経産牛

【優等】上満武(柴)【一等】山本秋広(柴)【二等】菊岡古茂(豊茂)平田貞友(白滝)【三等】谷淵岩太郎(柴)菊地叶(豊茂)

2部 〓 生後十二か月以上の未経産牛

【優等】上満武(柴)【一等】白石五郎(白滝)【二等】渡辺利邦(柴)【三等】湊正盛(白滝)佐々木昭(柴)

3部 〓 生後二十八か月以上の経産牛

【優等】村橋敬(穂積)【一等】石堂勝重(戒川)【二等】宮脇政勝(上老松)【三等】日野計教(戒川)村橋敬(穂積)

第4回大洲喜多乳牛育成共進会入賞者

1部 〓 昭和五十三年十一月二十四日から五十四年五月二十三日までに生まれた乳牛

【二等】上満武(柴)



谷脇大洲警察署長から感謝状を受ける川崎さん夫婦(長浜派出所で)

入水自殺図った女性救う
川崎輝市・スミ子さん夫婦

長浜二十一区の川崎輝市(五二)スミ子(四八)さん夫婦は、入水自殺を図った女性を救った功勞で、昨年十一月二十九日、近田宣秋大洲地区防犯協会長と谷脇利男大洲警察署長から感謝状を贈呈されました。贈呈は長浜警察官派出所で行われました。

入水事件は、昨年九月二十五日午後四時ごろ、今坊の橋立海岸沖で発生したものの。見知らぬ女性(町外の人)が

2部 〓 昭和五十三年五月二十四日から同年十一月二十三日までに生まれた乳牛

【一等】白石五郎(白滝)【二等】湊正盛(白滝)上満武(柴)

3部 〓 昭和五十三年五月二十三日以後に生まれた未経産乳牛

【三等】上満武(柴)

長小PTAが
文部大臣表彰

組織運営など優良

長浜小学校PTA(会長、日高照友さん)は、会員の熱意と協力により、優れたPTA活動を行い、いじりしい業績をあげたことにより、谷垣專一文部大臣から表彰されました。表彰式は、昨年十一月二十一日に東京の椿山荘で行われました。同PTAは組織、運営面などで優れており、このため会員相互

の伝達、理解がスムーズで活動が活発、しかも積極的であることなどが、今回の表彰されたおまな理由といえます。

藤井さん全国表彰

わが国教育振興に功績

出海の藤井嘉友さん(五〇)は、多年にわたり、PTA活動を通じてわが国教育の振興に尽力、きわめていちじりしい功績があつたこ

税金はあすの日本のエネルギー

小西順子(長さん)の標語が入選

大洲税務署が昨年、国税庁開庁三十周年記念に募集した税に関する標語の入選作三編のうち、長浜中学校三年生の小西順子さんの作品も選ばれました。小西さんの

同海岸から入水自殺を図ろうとして海に入り、約十呎沖でもがいているのを国道の位置から役場職員の大野泰俊さんと三浦直重さんが発見、その近くの海上で漁をしていた川崎さん夫婦に大声で叫んで伝えました。川崎さん夫婦は直ちに船を近づけて迅速に救助、わが家に連れて帰り入浴させたり、スミ子さんの着物を着せたりして保護。女性は警察署を通して親族に引き取られました。

により、高山久生日本PTA全国協議会長から表彰されました。表彰式は、昨年十一月二十一日に東京の椿山荘で行われました。

藤井さんは、これまでに出海小中学校PTA、長浜町PTA連合会、喜多郡PTA連合会の各会長、愛媛県PTA連合会の常任理事などを歴任。去年五月に県の常任理事を退任したのを最後に、現在はPTA関係の役職をすべて退任されています。

標語は次の通り。
「税金はあすの日本のエネルギー」

入選作品は、管内の六つの中学校から応募のあつた約二百編から選ばれたもの。昨年十一月十三日、穴吹文矢署長から表彰されました。

上田一郎さん
日高照友さん

納税表彰・感謝状

次の方々は、大洲税務署などが昨年十一月十三日に大洲中央公民館で行った納税表彰式で、表彰状あるいは感謝状を贈呈されました。

【大洲税務署長表彰状】上田一郎 長浜青色申告会納税貯蓄組合長

【県事務所長感謝状】榎筒益一 長浜町青果農協榎生事業所納税貯蓄組合長

【大洲喜多納税貯蓄組合長表彰状】日高照友 長浜地区料飲納税貯蓄組合長



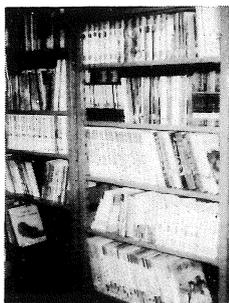
もちやがいろいろあるのも、もとはといえお守りだったものが多いうです。

この前のサルどし、昭和四十三年ごろは観光ブームで、各地で競って野性のサルを餌づけして観光資源にしはじめていました。ところが、最近では、野性動物の餌づけは自然保護に反するという説が盛んになり、またサルのいたずらも問題になっていきます。人間さまの「都合」にふり回されるサルの方こそ、いい迷惑と思つているかもしれませぬ。

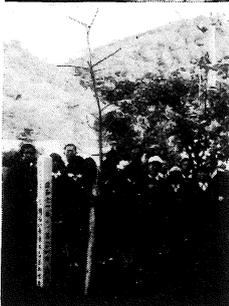
ひと昔前なら、正月につきものだったサル回しが、サルどしにはひとときわ人気が出たものですが、今はもうサル回しなど見たこともない人がほとんど。かつては「庶民芸能の一つ」として楽しまれたサル回しも、時代の流れとともに去っていく運命にあるのでしょうか。

長浜嵐

「新年」何回めぐり合わせてもさわやかな感じのことばではないか▲新婚、新郎新婦、新築、新調新品、新時代。「新」のつくものは一様にはすがすがしく、初々しく、光と希望に満ちた存在のようである▲ところで新のつくものごとその翌日から次第だいに古くなっていく運命を内包していることを忘れてはならない。このどうすることもできない因縁を正しく見抜いて適切な対処と努力を怠らない者が世の勝利者となるのであろう▲新米も古米となり新道も旧道となる。新人も旧人となり新年も旧年となる。これをいつまでも永遠に新しいものとして保持できたらどのように素晴らしいであろうか▲日新日進ということばがある。日に新たに日に進むと読む。昔の偉い人も新しきにはとことんあこがれたに違いない。その実現にいろいろと心を砕き苦労した結果生まれた心境が日新日進のことばになって表われたものであろう▲昭和55年元旦の心を365日、日に新たに持ち続けることができたなら旧年はなくなってしまっただけで昭和56年の元旦に続くこと間違いなし。毎日毎日をおめでとうございますと暮すことができたならまことに結構極まりないと思うのだが、お前はおめでたいやつだと笑われるだろうか。



国際児童年を記念して寄贈
 町では昨年十一月二十日、愛媛県国際児童年記念事業推進委員会から優良児童図書三百五十七冊、愛媛県から樹木(いちよう幼樹)



寄付された図書とイチヨウの幼樹



○白滝の中岡勉さん(四九)「函書」八間「百科」二十一巻を白

寄付

一本を寄贈頂きました。これは国際児童年を記念して県下各市町村に寄贈されたもので、私たちの町に寄贈頂いた図書は、中央公民館図書室に設置、樹木は長浜小学校の校庭に植えました。○長浜保育所母の会：電気せんた



結婚

54年11月長浜町役場届出分(敬称略)



11月のトップは亀井実・千代子さんのカップル

住所	氏名	婚姻届時年齢
今坊	亀井千代子	(二七)
今坊	登尾美智子	(二九)

住所	保護者氏名	続柄	児名
長浜	上川慶信	長男	洋平
白滝	尾上孝之	長男	寿之
白滝	富永政幸	長女	恵美

お誕生おめでとう!!

住所	氏名	出生時年齢
野村町	柴新智	(二四)
豊中市	矢野智恵	(二五)
上老松	横野正隆	(三〇)
長海町	竹内五月	(二八)
双海町	亀岡弘子	(二八)
大洲市	大野美生	(二五)
宇和町	清宮美枝	(二二)
沖浦	向井真弓	(二五)
沖浦	向井真弓	(二五)
仁老松	横谷正博	(二〇)
上老松	横谷照美	(二〇)
長浜	和田美加	(二三)
大洲市	鎌田保誠	(二三)

く機一台を長浜保育所へ。○榊小学校PTA：カラータレビ20型二台を榊小学校へ。○豊茂の楠野マサコさん(六四)：もち米七・五キログラムを老人ホーム白山園へ。

おくやみ

54年11月届出分(敬称略)

住所	氏名	死亡時年齢
今坊	西岡シカヨ	(八二)
沖浦	森岡長太郎	(七三)
沖浦	稲本真里	(七〇)
沖浦	山田フデコ	(五〇)
沖浦	新江スミエ	(八二)
白滝	金指キクエ	(八〇)
出海	池田カタ	(八一)
柴	宮本ユリ子	(四七)

訂正 前月号二ページの災害復旧工事の写真説明に「町道無事喜地」叶松線」とあるのは、「町道長浜〜戒川線」の誤り。同八ページ「人権に関する作文・書」の「モデル地区町長賞」で、野地栄子、山下千恵子、後藤さゆり(長・三)とあるのは、いづれも(出・三)の誤り。訂正しておわびいたします。

編集後記

昭和五十五年、八〇年代のスタートの年、明けましておめでとうございます。今年も、本紙編集に対して格別のご協力とご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

さて、年の初めに当って町長、議長、西田代議士のあいさつ、私の801などで紙面を飾らせて頂きましたが、あなたのこの一年の目標は、どう定められたでしょうか。どうぞ元旦の計が実り多いものでありますよう、お祈りいたします。編集室では、本紙があなたにもっとも近づけるよう、そしてあなたにもっとも近づけるよう、そしていて頂けるよう努力、一に情熱、二に情熱で臨む覚悟です。どうぞよろしくお願いいたします。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
 美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	12月1日現在	前月との比較
人口	13,107人 (男 6,273人 女 6,834人)	4人減 (増減なし 4人減)
世帯数	3,905世帯	1世帯減

